

所」11.9%（495件）が多く、行動では、「歩いていた（階段の昇降を含む）」が最も多く29.0%と3割近くを占める（図1-2-6-3）。

(2) 高齢者の居住環境

60歳以上の人々が地域で不便に思っていることをみると、平成22（2010）年では、不便な点が「特になし」という人が約6割（60.3%）であるが、不便に感じている事柄としては、「日常の買い物に不便」（17.1%）が最も多く、次いで「医院や病院への通院に不便」（12.5%）、「交通機関が高齢者には使いにくい、または整備されていない」（11.7%）となっている（図1-2-6-4）。

(3) 高齢者の安全・安心

ア 高齢運転者による交通事故件数が高い水準で推移

65歳以上の高齢者の交通事故死者数をみると、平成23（2011）年は2,262人で前年より

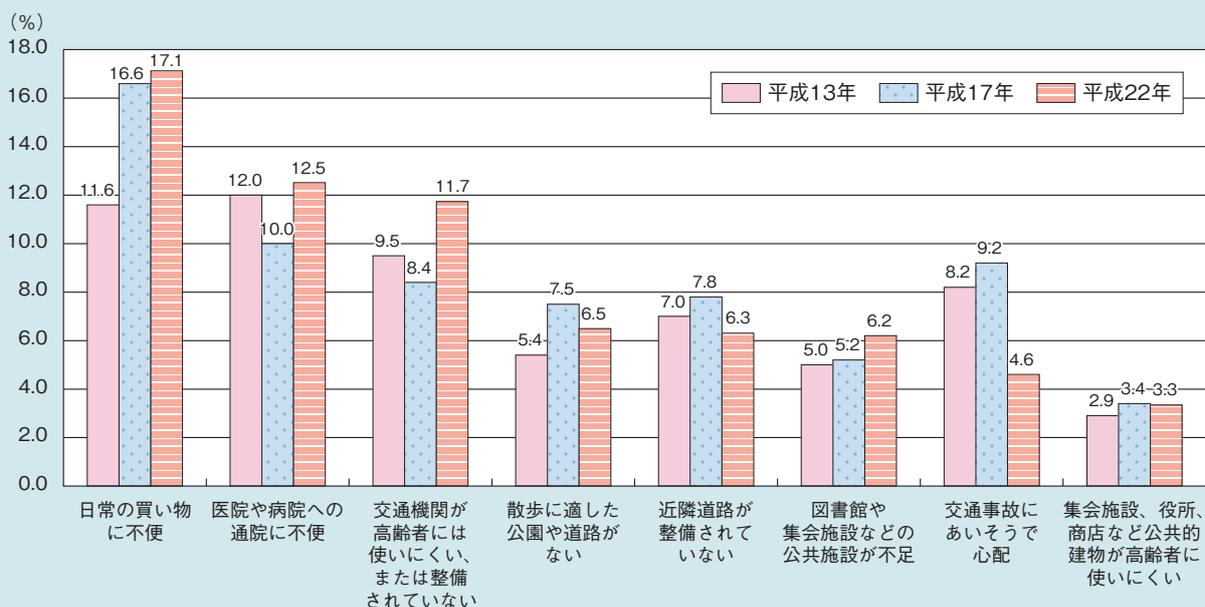
7.7%減少した。しかし、交通事故死者数全体に占める65歳以上の割合は49.0%と半数近くを占めている（図1-2-6-5）。

イ 振り込め詐欺の被害が依然として深刻

犯罪による65歳以上の高齢者の被害の状況について、刑法犯被害認知件数でみると、全刑法犯被害認知件数が戦後最多を記録した平成14（2002）年に22万5,095件となり、ピークを迎えて以降、近年は減少傾向にあり、22（2010）年は13万7,882件であった（図1-2-6-6）。

振り込め詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺及び還付金等詐欺の総称）のうち、特に高齢者の被害が多いオレオレ詐欺の平成23（2011）年の認知件数は4,656件と前年より5.4%増加した（表1-2-6-7）。また、親族、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出（窃取）額は約17億円であり、これに加えた振り込め詐欺の実質的な被害総額は

図1-2-6-4 地域における不便な点（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」（平成22年）
 （注）対象は、全国60歳以上の男女